



CompTIA Cloud Essential 認定試験出題範囲

試験番号: CLO-001

はじめに

CompTIA Cloud Essential認定試験は、ワールドワイドで提供されているベンダーニュートラルな認定試験です。この認定試験は、ITスペシャリスト、IT技術サービスのスペシャリスト、ITリレーションシップマネージャー、ITアーキテクト、コンサルタント、ビジネスおよびITの管理者、業務プロセスオーナー、アナリストを対象とした認定試験です。

CompTIA Cloud Essential認定試験では、受験者がクラウドコンピューティングの主な原理や概念について知識を持ち、理解しているかどうかを評価します。合格者は、ビジネスと技術の両面から見たクラウドコンピューティングの意義や、クラウドコンピューティングの導入と運営に伴う結果などを理解していると認定されます。

必須ではありませんが、受験者はITに関連しているタスクに対して責任者、または意思決定者としての直接的な関与を含む、6か月以上のIT実務経験を有していることをお勧めします。

この出題範囲には、試験分野、出題比率、出題例が含まれています。出題例は出題範囲を明確にするためであり、試験の出題内容そのものを反映している訳ではありませんので、ご注意ください。

以下は試験分野および各分野の出題比率表です。^{※1}

試験分野	出題比率
第1章 ビジネスの観点から見たクラウドサービスの特徴	15%
第2章 クラウドコンピューティングとビジネス上の意義	20%
第3章 技術的な観点から見たクラウドのタイプ	20%
第4章 クラウドコンピューティングの導入を成功させるステップ	15%
第5章 クラウドコンピューティングによる IT サービスマネジメントへの影響と変化	15%
第6章 クラウドコンピューティングのリスクと影響	15%
合計	100%

^{※1} 分野別に取り扱例があげられていますが、これらがすべての出題傾向を網羅しているわけではありません。また、この出題範囲に掲載がない場合でも各分野に関連する技術、プロセス、あるいはタスクについて、試験に含まれる可能性があります。本出題範囲は、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

第1章 ビジネスの観点から見たクラウドサービスの特徴(15%)

- 1.1 クラウドコンピューティングの一般的な用語と定義を理解し、その用例を挙げることができる。
- 1.2 クラウドコンピューティングと仮想化の関係について説明することができる。
- 1.3 クラウドコンピューティングの早期の例を挙げることができる。
- 1.4 クラウドコンピューティングの一般的な定義のいくつかと、それらの共通点・相違点を理解できる。
- 1.5 クラウドコンピューティングのメリットを受ける組織を見きわめられる。
- 1.6 クラウドコンピューティングのメリットを受けない組織を見きわめられる。
- 1.7 XaaS、IaaS、PaaS を含めたクラウドの種類を区別し、それぞれの例を挙げることができる。

第2章 クラウドコンピューティングとビジネス上の意義(20%)

- 2.1 クラウドコンピューティングとアウトソーシングの類似点と相違点を識別することができる。
- 2.2 クラウドとクラウドサービスについて、ビジネスの観点から以下の特徴を理解できる。
 - スケーラビリティ
 - セキュリティ
 - ハードウェアからの独立性
 - 変動費
 - 製品化までの時間
 - インターネット上での分散
- 2.3 クラウドコンピューティングの特徴がビジネス上の価値をいかに増強するかを例示することができる。

第3章 技術的な観点から見たクラウドのタイプ(20%)

- 3.1 プライベートクラウドとパブリッククラウドの違いを技術的な観点から理解し、その例を挙げることができる。
- 3.2 クラウドコンピューティングの配備に必要な技術と手法について、以下の事項を高次のレベルで理解できる。
 - ネットワーキング
 - オートメーションとセルフサービス
 - フェデレーション
 - 標準化の役割
- 3.3 クラウドコンピューティングにおける技術的な課題やリスクと、それらを低減して以下の目標を達成する方法を説明することができる。
 - クラウドストレージ
 - アプリケーションのパフォーマンス
 - データ統合
 - セキュリティ
- 3.4 クラウドコンピューティングがアプリケーションアーキテクチャとアプリケーション開発プロセスにもたらす影響について説明することができる。

第 4 章 クラウドコンピューティングの導入を成功させるステップ(15%)

4.1 クラウドコンピューティングサービス導入の成功をもたらす一般的なステップについて説明することができる。

- 試験導入の選定基準を理解する。
- SaaS、PaaS、IaaS の配備を組織の目標に関連付ける

4.2 クラウドコンピューティングベンダーの役割および能力と、ベンダー各社への依存性について理解できる。

4.3 クラウドのメリットを実現する際に求められる、以下のような組織的機能について理解できる。

- クラウドコンピューティングを導入する組織に必要なスキル
- 不可欠な成功要因

第 5 章 クラウドコンピューティングによる IT サービスマネジメントへの影響と変化(15%)

5.1 一般的な組織においてクラウドコンピューティングが IT サービスマネジメントにもたらす影響と変化について理解できる。

- サービス戦略
- サービスの設計
- サービスの運用
- サービスの移行

5.2 ITIL に基づく構造的なアプローチを用いて、自社におけるクラウドコンピューティングの影響の可能性を探ることができる。

第 6 章 クラウドコンピューティングのリスクと影響(15%)

6.1 コンプライアンスリスクと規制に関する既存の枠組みにクラウドコンピューティングを統合する際の問題点を特定して説明することができる。

- セキュリティ関連法規、コンプライアンス、プライバシーリスク

6.2 直接経費と原価配分に対する関わりを説明することができる。

6.3 戦略上の柔軟性をどのように維持するかを理解できる。

CompTIA Cloud Essentials 略語一覧

下記はCompTIA Cloud Essentials認定資格試験で使用される略語の一覧です。受験者は、試験準備の一環として、これら用語を復習し、理解することをお勧めします。

API	—	Application Programming Interface
BPaaS	—	Business Process as a Service
CaaS	—	Communications as a Service
CAPEX	—	Capital Expense
CIO	—	Chief Information Officer
CRM	—	Content Records Management
DR	—	Disaster Recovery
IaaS	—	Infrastructure as a Service
ISO	—	International Standards Organization
ITIL	—	Information Technology Infrastructure Library
LDAP	—	Lightweight Directory Access Protocol
MaaS	—	Monitoring as a Service
OPEX	—	Operating Expense
PaaS	—	Platform as a Service
SaaS	—	Software as a Service
SDLC	—	Synchronous Data Link Control
SFTP	—	Secure File Transfer Protocol
SLA	—	Service Level Agreement
SNMP	—	Simple Network Management Protocol
SOA	—	Service Oriented Architecture
SSL	—	Secure Sockets Layer
TaaS	—	Testing as a Service
VLAN	—	Virtual LAN
VPN	—	Virtual Private Network
VTP	—	VLAN Trunk Protocol
WAN	—	Wide Area Network
XaaS	—	Anything as a Service